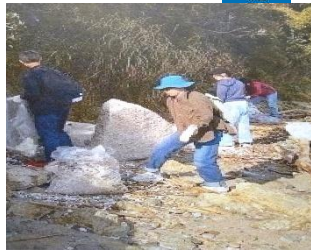


未来の環境へ繋ぐ「西播磨のいきもの大調査」

兵庫県立大学附属高等学校自然科学部生物班

「海ごみ素材の手作りアクセサリ」 Rable

Rable チームは、地球温暖化の深刻さを訴え、CO₂を吸収する力をもつ海のごみを保全して50年後100年後の未来を守る活動を広めることを目指し、ビーチクリーン活動を行って回収した海ごみを手作りアクセサリ作製の素材としている。



ビーチクリーン活動



手作りアクセサリの作製過程



手作りアクセサリ



西播磨フロンティア祭

各種イベント等でワークショップを開設し、アクセサリを販売し、ごみ拾いやリサイクルの必要性を伝えている。また、小中学生対象に「紙芝居」を通じた環境教育も行っている。



紙芝居を通じた環境教育

第2回西播磨ビジネスプランコンテスト決勝大会 令和6年12月21日（土）学生アイデア部門で、中学・高校等の部の最優秀賞、プレゼンテーション賞、大阪ガス賞の3つの賞を受賞した。

「生き物の調査から始まった活動」

播磨科学公園都市周辺の豊かな自然環境を生かす活動をしたかったので、本校周辺を中心に西播磨地方の生き物を観察・記録し、一部は採取・飼育・栽培した。参加者は、自然科学部生物班の約20名と2年生の課題研究生物班の約20名である。

自然科学部生物班の生徒は各自が興味をもった生物、チョウ・トンボ類、カメムシ類、カニムシ類等の観察・飼育・記録・標本作製の活動に取り組んだ。

課題研究生物班の生徒はクラス単位の班ごとにテーマを決め、生物観察以外の活動にも取り組んだ。採取したドングリやシバグリ、アメリカザリガニ等の調理、土壌中の微生物や小動物の調査等である。

また、校内自然・生物写真コンクールを行い、参加者以外からも写真を募集した。

成果と問題点

興味を持つ生物が見つかり、様々の研究につながったので、研究活動のきっかけとして有効であった。写真撮影したデータは蓄積されたが、種を調べるのが難しく、撮影場所や大きさ等の記録を残していない後の研究に使いにくいデータが多かった。



タイコウチ



アカスジメダカカサミカメ



ヨコズナサシガメ



テングタケ



モウソウチクのタケノコ



ドングリバンケーキ



アゲハモドキ



ガの幼虫



テングチョウ



シタベニハゴロモ



セミの幼虫



カニムシの一種



アカミミガメのから揚げ



ドングリめん